



# 弘前医療福祉大学紀要

*Journal of Hirosaki University  
of  
Health and Welfare*

第7巻 第1号  
2016年3月発行

弘前医療福祉大紀要  
J. Hirosaki Univ. Health Welf.

弘前医療福祉大学紀要編集委員会

# 目 次

[総 説]	正常、手術対照、松果体除去ラット副腎髄質の計量細胞学的研究 —とくに日内時間およびアドレナリン細胞・ノルアドレナリン細胞間差異との関連 1. 分析・統合結果を中心として 加地 隆	1
[原 著]	ブドウのステューベン( <i>Vitis labrusca</i> var. 'Steuben')の葉の植物化学的プロファイルと殺菌効果について 長岐 正彦、成田 孝司、後藤 嘉文	17
[原 著]	学生の感情を表す語彙と情動スキルの変化 小玉 有子、齋藤三千政、戸来 睦雄	25
[研究報告]	大学生における体格と「標準モデル栄養バランス表ソフト」を用いた 食品材料摂取頻度との関連 斎藤 真澄、富田 恵、野宮 富子、熊坂 美紀、小玉 有子、佐藤 厚子	33
[研究報告]	老年看護学実習における学生の臨床判断能力の分析 —移乗・移動動作に焦点をあてて— 平川美和子、須崎有里子、吉田 尚代、山下 知子	39
[報 告]	London 発 国際学会詐欺 佐々木甚一	49
[特 集]	報告・公開講座  公開講座「最近の認知症事情と認知症ケア」 小池 妙子	61
	公開講座「吃音（きつおん）のはなし」—周囲の理解が重要です— 小山内筆子	69
	公開講座「高齢者リハビリテーション」—フレイルの予防と頭と体の体操— 石井 陽子	73
	紀要規程・投稿要項	77
	編集後記	
	紀要編集委員会委員	

## 弘前医療福祉大学紀要投稿要項

### 1. 投稿論文

投稿論文は他誌に未掲載で且つ投稿中ではない和文及び英文の総説、論説、原著、研究報告、研究ノート、短報、その他とし、随時受け付ける。

### 2. 論文の種類

他誌に未掲載で投稿中ではない以下①-⑦の論文を受け付ける。

尚、①-⑤は査読があり、⑥⑦は査読なしとする。

- ① 総説：ある主題に関連した研究の解説、総括
- ② 論説：主題に関する理論の構築、展望、提言
- ③ 原著：独創的な研究により、新しい知見、理論を示した論文
- ④ 研究報告：研究上の問題提起、興味深い事実や実態・事例・症例に関する論文
- ⑤ 研究ノート：論文としては未整理であるが、すぐに知らせる意義のある研究
- ⑥ 短報：教育実践報告、研修報告、国際学会、セミナー報告
- ⑦ その他：委員会が必要と認めたもの

### 3. 投稿資格者

- 1) 本学専任教員
- 2) 1) の共同研究者
- 3) その他 委員会が適切と認めた者

### 4. 倫理的配慮

人および動物を対象にする研究では、倫理的に配慮し、その旨を本文中に明記する。

研究が適切に行われたことを示すため、「本研究は弘前医療福祉大学研究倫理規程に沿って行われた」、英語論文の場合は“The study was performed in accordance with the Rules for Ethics of Study, Hirosaki University of Health and Welfare.”と文中、または文末に明記する。

## 執筆・投稿要領

### 1. 原稿の構成と表記

- 1) 原稿はA4版、10ポイントで1枚につき40字(英字・数字は半角)×40行 横書きとする。

原著、研究報告、総説、論説は10枚(16000字)以内とし、研究ノート、短報、その他は5枚(8000字)以内とする。但し、図表1枚は800字(半枚)分に数えるものとする。欧文の場合にはA4版、ダブルスペースで1枚につき26行でタイプする。

欧文は必ずnative speakerによる校閲を受けたものであること。

- 2) 表紙には論文題名、著者名、所属および所在地(希望するならe-mail アドレスも)を和文と欧文の両方でそれぞれ明記する。さらに本文枚数(引用文献、要旨を含む)、図、表、写真、図表の説明文などの枚数を記載し、最後に論文の種類:「原著」(例)のように明記する。2枚目には600字以内の和文要旨とキーワード3-5語、3枚目には300語以内の英文要旨とkeywords 3-5語を記す。

- 3) 図表の使用は最小限にとどめ、「図1」、「表1」、「写真1」等 それぞれの通し番号をつけ、本文とは別に一括する。

これらの挿入希望場所を本文原稿右余白にそれぞれ指定する。図、表、写真については印刷時の大きさを明記する(例:原寸、70%、50%など)。

- 4) 外国の人名、地名に原語を用いるほか、叙述中の外国語にはできるだけ訳語をつける。
- 5) 注は脚注として最小限にとどめる。

### 2. 文献記載の様式

- 1) 文献は、本文の引用箇所の肩に1)-3)と表し、最後に一括して引用順に掲げる。
- 2) 文献は、“引用”や“参考”をつけず、「文献(References)」として扱う。

3) 文献の記載方法・順序

〈雑誌〉著者名：表題名. 雑誌名. 巻(号)：頁-頁, 発行年

〈単行本〉著者名：論文題名. 書名(版表示). 編者名. 頁-頁. 発行地：出版社. 発行年

〈訳本〉著者名：論文題名. 書名(版表示). 編者名. 訳者名. 頁-頁. 発行地：出版社. 発行年

3. 投稿の際の提出書類

1) 原稿：表紙、和文要旨、英文要旨、本文、図表

(総説・論説・原著・研究報告・研究ノート・短報 ともに1部、査読を要するものについてはコピーを2部提出する。コピー2部については、著者名、所属、謝辞ほか著者を特定できるような事項を削除する。)

2) 紀要原稿提出書と原稿受領書をセットで提出する。(大学共有ファイル内)：連絡先(氏名、住所、電話番号、メールアドレス)と別刷希望部数を記入する。

3) フロッピーディスクまたはCD(1枚)；ソフトはワードとし、ファイル名を「本文」「和文要旨」「英文要旨」「図1」などとする。但し、提出は論文受理後とする。

4. 謝辞、大学の正式な英語名等について

1) 学長指定研究等は謝辞に記載する。

例

「本研究は弘前医療福祉大学学長指定研究により行われた。」

英文の一例を記載する。

This article was partially supported by a grant for designated research provided by the President of Hirosaki University of Health and Welfare.

2) 大学などの正式な英語名および省略形を使用する場合の参考例を記載した。

弘前医療福祉大学

Hirosaki University of Health and Welfare ..... Hirosaki Univ Hlth & Welf

保健学部

School of Health Sciences ..... Sch Hlth Sci

看護学科

Department of Nursing ..... Dept Nursing

医療技術学科

Department of Rehabilitation Sciences ..... Dept Rehabil Sci

作業療法学専攻

Division of Occupational Therapy ..... Div OT

言語聴覚学専攻

Division of Speech-Language-Hearing Therapy ..... Div ST

5. その他

1) 著者校正は原則として一校までとする。校正時の大幅な追加、修正は原則として認めない。

2) 別刷は10部まで共通経費による負担とする。

# 編 集 後 記

弘前医療福祉大学紀要編集委員会  
委員長 長 岐 正 彦

今年は例年になく降雪が少なく過ごしやすい冬でした。間もなくこの弘前にも春が訪れようとしています。ここに本学の紀要第7巻をお届けします。論文の内訳は、総説1、原著2、研究報告2、レポート1、報告・公開講座3の9編です。

本学は四年制大学が開学して昨秋はじめて外部評価を受けました。大学としての真価が問われたこととなります。公表はこれからでしょうが、ソフトランディングが出来たようです。先生方は自己点検調査書等の作成などでいつもより慌ただしかったことでしょうか。加えて、県内外で行われる実習指導、卒研指導、および国試対策等多忙を極める活動のなかで、日頃の研究成果を論文として纏めて下さいました先生方、およびそれを側で支えて下さった先生方に感謝致します。

本学は、この春で4回目の卒業生が巣立っていきます。国試の結果は昨年が良かっただけに今年も心配なところですが、どの地へ赴任しても日頃からはぐくんできた他人を思いやる心と社会貢献の精神をもって患者さん達に接してくれるものと信じております。

本来、大学は「教育」と「研究」の両輪からなっております。これをうまく実践しつつ社会や地域の要請・期待に応え、持続性を保ちながら人材育成を担っていく必要があります。そのためにも、本委員会では、皆様の研究成果を継続的に発信していければと思っています。皆様の研究原稿をお待ちしております。

弘前医療福祉大学  
紀要編集委員会

委員長	長岐正彦
副委員長	氏田直子
委員	三浦秀春
委員	佐藤厚子

---

Journal of Hirosaki University of Health and Welfare

弘前医療福祉大学紀要

第7巻 第1号

平成28年3月31日発行

---

編集・発行 〒036-8102 弘前市小比内 3-18-1  
弘前医療福祉大学内 紀要編集委員会  
TEL：0172-27-1001

印刷所 〒036-8061 弘前市神田 4-4-5  
やまと印刷株式会社  
TEL：0172-34-4111 FAX：0172-36-3299

---

Contents

[Review]

Quantitative cytological study on the adrenal medulla in normal, sham-operated and pinealectomized rats, with special reference to time-of-day and differences between adrenaline cells and noradrenaline cells. 1. The results of analysis and intergration, as the main theme.

**Takashi Kachi** ..... 1

[Original]

Phytochemical Profile and Bactericidal Effect of the Leaf of the Grape *Vitis labrusca* var. 'Steuben'

**Masahiko Nagaki, Takashi Narita, Yoshifumi Goto** ..... 17

[Original]

Transition of Vocabularies Expressing Emotions and Emotional Skills in Students

**Ariko Kodama, Michimasa Saitou, Mutuo Herai** ..... 25

[Report]

The Relationship Between the Physiques of College Students and Food Intake Using "Model Nutritional Balance Chart Software."

**Masumi Saito, Megumi Tomita, Tomiko Nomiya, Miki Kumasaka, Ariko Kodama, Atsuko Sato** ..... 33

[Report]

Analysis of Clinical Judgment by Nursing Students in the Gerontological Nursing Practicum  
—A Focus on Transfer and Movement—

**Miwako Hirakawa, Yuri Suzuki, Hisayo Yoshida, Tomoko Yamashita** ..... 39

[Report]

International Conference-Fraud Released from London

**Jinichi Sasaki** ..... 49

[Other Report]

Special Topic

Extension: Current Topic of Dementia and Preventive Strategies against Progression

**Taeko Koike** ..... 61

Extension: The Management of Stuttering—Understanding the Surrounding is Important—

**Fudeko Osanai** ..... 69

Extension: Recommendable Rehabilitation Drill for Prevention of Frailty, the Aged-Brain and Physical Training

**Youko Ishii** ..... 73